

1. 令和5年度（R5.10～R6.4）部会年間報告

(R6-N0.1)

部会名：道路橋の限界状態設計法に関する 研究部会			部会長：宮下 剛	
会議名称	構成員数	開催回数	平均参加人数	備考（内容など）
全体部会	26	2	24	第3回：11月28日，第4回：4月18日
幹事会	6	0	—	
WG1（新設部材）	7	1	7	第3回：1月23日
WG2（新設構造）	8	2	8	第3回：12月4日，第4回：4月11日
WG3（既設構造）	11	0	—	能登半島地震対応でWGを開催できず
部会主催の講演会、報告会および見学会				
開催日時	内容（テーマ）			
11/28	各WGで取り扱う内容や今後の進め方について議論（全体部会）			
4/18	各WGで取り扱う内容や今後の進め方について議論（全体部会）			
1. 活動報告の総括（R5.10～R6.4） - 全体部会を2回，各WGを1回程度開催した。 - 第3回全体部会（R5.11.18）：各WGでの進捗報告ならびに取り扱う内容や今後の進め方について議論した。 【話題提供】鋼部材の耐荷性能に関する研究紹介（門田幹事） - 第4回全体部会（R6.4.18）：各WGでの進捗報告ならびに取り扱う内容や今後の進め方について議論した。 【話題提供】鋼ゲルバートラス橋の振動低減を目的とした補強方法に関する研究（笠野幹事） - WG（ワーキンググループ） - WG1：新設部材の限界状態設計（委員：5名，幹事：2名） リーダー：山本貴之（高田機工株式会社） 担当幹事：笠野幹事，宮寄幹事 - WG2：新設構造全体系の限界状態設計（委員：6名，幹事：2名） リーダー：王 智連（株式会社オリエンタルコンサルタンツ） 担当幹事：野阪幹事，門田幹事 - WG3：既設構造の補修に対する限界状態設計（委員：9名，幹事：2名） リーダー：吉川英行（株式会社社長大） 担当幹事：宮下部会長，小野幹事				
2. 特別研究費の有無および“有”の場合その内容 申請の予定なし				
3. 報告書の作成時期および形態 報告書の作成時期：2025年度中を予定，報告書の形態：電子ファイル				
4. その他（要望・連絡・外部発表実績等） 特になし				

2. 令和6年度 部会活動計画 「部会名；道路橋の限界状態設計法に関する研究部会」(R6-N0.2)

1. 活動方針

平成29年に道路橋示方書が改定され、設計体系が部分係数法及び限界状態設計法へと移行した。しかし、各種構造物における限界状態における限界状態や照査式の具体化はこれからの状況といえる。また、実務では、鋼桁での合成・非合成の取扱いなど、設計上の課題もある。

本部会では、改定道示における現状の問題点を整理するとともに、実務における使用性や実用性といった観点から、あるべき限界状態や照査式の具体について議論を行い、設計法へと結びつく資料を提供したい。

2. 具体的な活動計画

(1) 全体部会（4回/年程度）

- ・ 各WGの進捗報告，審議
- ・ 話題提供（限界状態設計法，維持管理，実務での課題等）
- ・ 全体部会の開催前に，必要に応じて幹事会を実施する。

(2) WG活動（4回/年程度）

- ・ テーマごとに3つのWG（新設部材，新設構造，既設構造）に分かれて活動を行う。
- ・ 各WGでは，課題抽出に向けて，既往研究や国内外の設計基準，設計事例などをベースに情報収集を行い，各課題に取り組む。
- ・ WG1では，まずはトラス格点部の限界状態設計法に着目して検討を進める。
- ・ WG2では，橋梁形式毎の限界状態の考え方，橋としての性能の階層化，橋全体系の限界状態を考えるのに参考となる橋の壊れ方等について情報収集を行う。
- ・ WG3では，鋼橋の補修・補強で悩んだ事例や部材の塑性域まで考慮すれば補修・補強が合理的になった可能性がある事例等について情報収集を行う。

3. 特別研究費の有無（申請有りの場合はその時期、年額、研究目的等をご記入下さい）

現在，申請の予定なし

4. その他 部会運営上の問題や運営幹事会に対する要望、連絡事項等有ればご記入ください

特になし

道路橋の限界状態設計法に関する研究部会部会 活動計画・報告表

当初計画：■■■■■■■■
実績と計画：■■■■■■■■

活動テーマ

平成29年に道路橋示方書が改定され、設計体系が部分係数法及び限界状態設計法へと移行した。しかし、各種構造物における限界状態における限界状態や照査式の具体化はこれからの状況といえる。そこで、現行の道路橋示方書における問題点や課題を整理するとともに、実務における使用性や実用性の観点から、限界状態や照査式の具体について議論を行い、設計法へと結びつく資料の提供を目指す。

活動目標

(1) 全体部会(4回/年程度)

- ・各WGの進捗報告、審議
- ・話題提供(限界状態設計法、維持管理、実務での課題等)

(2) WG活動(4回/年程度)

- ・テーマごとに3つのWG(新設部材、新設構造、既設構造)に分かれて活動を行う。
- ・各WGでは、課題抽出に向けて、既往研究や国内外の設計基準、設計事例などをベースに情報収集を行い、各課題に取り組む。

活動報告(R5.10～R6.4)

- ・全体部会を1回、各WGを1回程度開催した。
- ・第3回全体部会(R5.11.18)：各WGでの進捗報告ならびに取り扱う内容や今後の進め方について議論した。
話題提供：鋼部材の耐荷性能に関する研究紹介(門田幹事)
- ・第4回全体部会(R6.4.18)：各WGでの進捗報告ならびに取り扱う内容や今後の進め方について議論した。
話題提供：道路橋の限界状態設計法に関する研究紹介(仮)(笠野幹事)
- ・2023年3月末に、構成員1名に変更があった。
- ・2024年1月1日に発生した能登半島地震対応のため、WGを開催できないケースがあった。

構成員数： R5.4～R5.10のWG開催回数：2回 平均参加人数：24名

	R5年度		R6年度		R7年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
全体部会	■■■■■■■■	■■■■■■■■	■■■■■■■■	■■■■■■■■		
WG1(新設部材)	■■■■■■■■	■■■■■■■■	■■■■■■■■	■■■■■■■■		
WG2(新設構造)	■■■■■■■■	■■■■■■■■	■■■■■■■■	■■■■■■■■		
WG3(既設構造)	■■■■■■■■	■■■■■■■■	■■■■■■■■	■■■■■■■■		
報告書作成				■■■■■■■■	■■■■■■■■	■■■■■■■■
報告書まとめ				■■■■■■■■	■■■■■■■■	■■■■■■■■
全体部会開催	○R5.5.25 ○R5.8.2	○R5.11.28				
幹事会開催	○R5.6.21					
WG開催	WG1: ○R5.8.2, WG2: ○R5.8.2, WG3: ○R5.8.2	○R5.10.20, ○R6.1.23 ○R5.10.23, ○R5.12.4, ○R6.4.11 ○R5.10.24				
備考	現在					